

糸魚川

小野澤繁雄

糸魚川そういう川はないという呼びだしてよむ駅の案内に

案内に海が見えるがそのさいしょ能登半島が今日はみえない
のり鉄の旅ともいえぬ旅ながら展望台に海をみており

駅前の通りにあつてその表示海拔五メートルそれもうごいて

「塩送る」舞台となれどそのみちの起点のまちに下車をしたもの

荷物もつ人が多いか大糸線北の区間にツーリストたち

ビル街にそらみる感じ谷間は頭上のそらに雲をみていて

駅がもうモニユメンタルなものになる鉄道もまた近代が発

さまざまにしることありて大町市それに谷村町いずれ経過を

神の裁きを待つ者ら特急は夜のあずさの床にすわりこむ